

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年5月7日～5月13日)

平成 27 年(2015 年)5 月 15 日

H E A D L I N E S

政治

ヴェステルプラッテにて第二次世界大戦終結70周年記念式典を開催
 コモロフスキ大統領, 5月8日を「勝利記念日」とする法案に署名
 大統領選挙第1回投票にてドゥダ候補が第一位に, 24日に決選投票へ
 コモロフスキ大統領, 小選挙区制導入等に関する国民投票を提案
 シェモニャク副首相兼国防相とル・ドリアン仏国防相との演習視察
 シェモニャク副首相兼国防相の仏ロリアン解放70周年式典出席
 城内外務副大臣, ポーランドを訪問し, カツペルチク外務次官と会談
 米との防衛産業フォーラム開催
 スヘティナ外相, NATO外相会合に出席

経済

欧州委が過剰財政赤字手続きの終了を勧告
 東欧からの渡航者の消費が増加
 1,600万人がポーランドを訪問
 教育ランキングで第11位に躍進
 ポーランドの化粧品輸出が記録を更新
 2015年4月の自動車生産は前年比増
 EUがポーランド・リトアニア間のガスパイプライン建設準備のため資金を援助
 ポーランド企業6社がフォーブス世界企業ランキングにランクイン
 欧州委員会「高齢化白書」-ポーランドの人口減少と予測
 ポーランドの出生数の減少

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

読者からの投稿

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696
 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治
内 政

ヴェステルプラッテにて第二次世界大戦終結70周年記念式典を開催【7日】

7日深夜、ポーランド北部のヴェステルプラッテ(1939年に第二次世界大戦が勃発した場所)にてコモロフスキ大統領主催の第二次世界大戦終結70周年記念式典が行われ、潘基文国連事務総長、トゥスク欧州理事会議長、中・東欧各国首脳等が出席した。コモロフスキ大統領は、同式典にて、70年前に欧州全体は戦争終結を祝福したが、右終結は全ての欧州の国家にとって勝利を意味しなかった、ウクライナ紛争は20世紀の欧州の暗黒の歴史を想起させる勢力が引き続き存続していることを示している旨発言した。コモロフスキ大統領は、この機会に、潘基文国連事務総長及びポロシェンコ・ウクライナ大統領と個別会談を行った他、各国首脳と共に「欧州統合、第二次世界大戦の教訓その現代における意味」と題するパネル討論に参加した。

コモロフスキ大統領、5月8日を「勝利記念日」とする法案に署名【7日】

7日、コモロフスキ大統領は、5月8日を国祭日「勝利記念日」とする法案に署名し、同法案は同日発効した。政府官報によると、新しい国祭日はナチス・ドイツへの勝利を記憶するために制定された。大統領によって署名された本件法案は、同時に、1945年以降国祭日と定められていた5月9日の「勝利・自由記念日」を廃止した。

大統領選挙第1回投票にてドゥダ候補が第一位に、24日に決選投票へ【10日】

10日、大統領選挙の第1回投票が行われ、12日に国家選挙委員会が発表した開票結果では、最大野党「法と正義」(PiS)のドゥダ候補が34.76%を得票し、現職のコモロフスキ大統領が獲得した33.77%を僅かながらも上回った。これまで選挙キャンペーン期間のほぼ全ての世論調査にてコモロフスキ大統領がドゥダ候補を大きくリードしてきただけに、第1回投票の結果はポーランド社会に驚きをもって受け止められた。今次投票にて有効投票数の過半数を獲得する候補が出なかったため、24日にドゥダ候補とコモロフスキ大統領の上位2名による決選投票が行われる。なお、今次投票の投票率は、48.96%であり、体制転換後の大統領選挙において最低の水準となった。

コモロフスキ大統領、小選挙区制導入等に関する国民投票を提案【11日】

11日、コモロフスキ大統領は、記者会見を開催し、小選挙区制(1人区制)の導入、政党助成金の廃止、税制改正に関する国民投票の実施を提案した。小選挙区制の導入は、10日の大統領選挙で20.80%の票を獲得し第三位につけたクキス候補(無所属、ロック歌手)が強く主張していた論点であった。後日、コモロフスキ大統領は、関連法案を国会に送付した。

外交・安全保障

シェモニャク副首相兼国防相とル・ドリアン仏国防相との演習視察【7日】

7日、シェモニャク副首相兼国防相とル・ドリアン仏国防相は、ポーランド北部のドラヴスコ・ポモロスキエ訓練場において仏兵300名を含む両国軍が実施しているNATOのPuma15合同演習を視察した。

シェモニャク副首相兼国防相の仏ロリアン解放70周年式典出席【10日】

10日、シェモニャク副首相兼国防相がフランスのロリアンで開催された同地解放70周年式典に出席し、同様に同式典に出席したル・ドリアン仏国防相、フォン・デア・ライエン独連邦国防相及びモレネス・スペイン国防相とともに、欧州の防衛について現在の安全保障の現状を踏まえ、欧州の結束の重要性が強調されるとともに、2003年に作成された欧州防衛戦略が現状の課題に適応しておらず改正が必要だという認識を共有した。

域内外務副大臣、ポーランドを訪問し、カツペルチュク外務次官と会談【11日】

11日、ワルシャワを訪問した域内外務副大臣は、カツペルチュク外務次官と会談を行い、二国間関係、地域・国際情勢等につき意見交換した。今次会談では、特に本年2月のコモロフスキ大統領の訪日の際に両国間で確認された戦略的パートナーシップ関係の更なる深化に焦点が当てられ、二国間関係を幅広い分野において発展させるための意見交換が行われた。

米との防衛産業フォーラム開催【12日】

12日、当地でポーランド国防省武装政策局と当地米国大使館防衛協力事務所との間で開催されたポーランド・米国防衛フォーラムが開催され、ムロチェック・ポーランド国防副大臣は、ポーランドは野心的な軍装備の近代化計画を進めており、ポーランドの科学者及び産業にもこの大規模計画に参加してもらいたい旨述べた。このフォーラムでは、防衛産業の

技術的近代化計画への協力、計画されている入札、オフセット及びポーランドの新しい規則、両国の政策及び防衛協力、サイバー・セキュリティについて協議された。

スヘティナ外相、NATO外相会合に出席【13日・14日】

13日及び14日、スヘティナ外相はトルコ・アンタ

ルヤにて実施されたNATO外相会合に出席し、ウクライナ紛争、アフガニスタン情勢、2016年のNATOワルシャワ首脳会談への準備等に関する議論に参加した。スヘティナ外相は、我々はより効率的に目的を実現し、同盟関係を更に強化すべきである旨述べた。

経 済

経済・財政政策

欧州委が過剰財政赤字手続きの終了を勧告【13日】

欧州委は、EU理事会に対し、ポーランドに対する過剰財政赤字手続き(EDP)を終了することを勧告したと発表した。EDPは財政赤字が対GDP比で3%を

超える加盟国に適用される手続きで、2014年の財政赤字の対GDP比は3.2%であったが、同年の年金改革に要した財政支出を考慮した場合、この比率は3%以下に減少する。EU理事会によるEDP解除の決定は6月19日に行われる見込み。

マクロ経済動向・統計

東欧からの渡航者の消費が増加【7日】

中央統計局(GUS)によれば、2014年の東欧からの渡航者によるポーランド国内における消費は前年比18%増となる96億ズロチに達した。ウクライナからの渡航者の消費の増加が著しく前年比23%増の57億ズロチとなっている。ポーランド東部における東欧渡航者の消費は全体の12%を占めており、現在低開発となっている同地域の経済発展に大きく貢献している。

ポーランドを訪問した。そのうちEU内からは前年比15.5%増となる1,140万人が訪問している。訪問者が最も多い国はドイツで、570万人、訪問者が最も増加した国はフランスで前年比55.3%増。

教育ランキングで第11位に躍進【13日】

最新のOECDの調査では、ポーランドは十代の若者の数学と理科の成績に関するランキングにおいて、76カ国第11位となった。上位5カ国は、シンガポール、香港、韓国、日本、台湾といずれもアジアの国が占めたが、ポーランドは第13位のドイツ及び第20位の英国より上位となった。

600万人がポーランドを訪問【13日】

2014年は前年比1.3%増となる1,600万人が

ポーランド産業動向

ポーランドの化粧品輸出が記録を更新【8日】

ポーランドの2014年の化粧品輸出額は前年比2.5%増の92億ズロチに達した。これらの多くはポーランドに生産拠点を構える多国籍企業の製品であり、2015年も引き続き好調な状態は続くものと見られている。

自動車産業専門調査会社のSamarによると、2015年4月のポーランド国内の自動車生産は前年同月比9.42%増の59,240台であった。前月比では12.22%の減少であった。1月から4月までの合計生産台数は242,315台で前年同期比17.14%の増加となった。

2015年4月の自動車生産は前年比増【11日】

エネルギー・環境

EUがポーランド・リトアニア間のガスパイプライン建設準備のため資金を援助【13日】

ポーランドのGaz-System社とリトアニアのAmber Grid社は、両国間をつなぐガスパイプライン建設準備に必要な作業について、EUとの間で資金援助を受けることで合意した。EUからは作業に必要な経費の50

%にあたる1,060万ユーロの資金援助を受ける。ポーランド・リトアニア間のガスパイプライン建設計画はバルト海沿岸諸国とEUを連結させ、ガス供給の多様化や安全保障を高めることを目的としている。パイプラインの全長は534km(ポーランド側は357km)となる。

その他

ポーランド企業6社がフォーブス世界企業ランキングにランクイン【7日】

フォーブス社の発表する2015年版の世界の公開企業上位2000社ランキング(Forbes Global 2000)において、ポーランドの国有企業6社がランクインした。PKO PB社が最も高い743位となり、PGE社、PZU社、PGNiG社、PKN Orlen社、KGHM社の順でランクインしている。

欧州委員会「高齢化白書」ーポーランドの人口減少と予測【12日】

欧州委員会は、2015年版高齢化白書(The 2015 Ageing Report)を発表した。報告書は、2013年を基準に2060年の人口構成等を予測している。この中で、ポーランドについては、2060年の人口は500万人以上減少し約3,320万人になると予測している。

労働人口の占める割合は2013年の70.5%から約54%へと減少する一方、高齢者人口は14.5%から約33%へと上昇すると予測している。なお、EUの総人口については、5.23億人になると予測している。

ポーランドの出生数の減少【12日】

ポーランドの出生数は、2008年から2011年にかけての上昇したものの、この4年間は年々低下している。中央統計局(GUS)のデータによれば、2015年第一四半期の出生数は約9万人であったが、この数は昨年の同時期よりも1000人少ないという。2014年末のポーランドの人口は約3840万人であったが、2015年3月の時点はここから15,000人減少しているという。また、GUSのデータでは、2015年第一四半期の婚姻件数は減少している一方、同時期の離婚件数は増えているという。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成27年度前期分)

現在、当館ホームページ上 <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho27.1semester.pdf> にて、平成27年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

[予定]第3回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【5月30日(土)11時30分～19時】

ポーランド商工会、日本人会、日本大使館主催による第3回「日本祭り」がワルシャワのトルヴァルスポーツセンターで開催されます。和太鼓、舞踊、伝統音楽からポップまで様々なステージ演目、武道、着付け、書道、

マンガ、生け花、けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に、観光情報コーナーや企業展示、日本食の販売なども予定されています。入場無料。

開催場所：TORWAR(スポーツセンター) ul. Łazienkowska 6a 00-449 Warszawa

詳細：facebook.com/Matsuri2014

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

【開催中】中東欧書道コンクール 2015【～5月15日(金)】

ワルシャワ日本語学校、ポーランド日本語教師会共催によるイベント『中東欧書道コンクール 2015』が開催中です。応募締切は5月15日。展示会は6月から予定されています。

詳細：[http://wsjj.pl/pl/menu/konkurs-kaligrafia/-](http://wsjj.pl/pl/menu/konkurs-kaligrafia/)

問合せ先：japonia.polska@gmail.com

【開催中】シェークスピア劇場ジャパン・ウィークエンド【5月15～17日(金～日)】

グダンスクにて、グダンスク・シェークスピア劇場主催による「ジャパン・ウィークエンド」が開催されます。劇団柘の実・五十田安希主演「マクベス夫人」「オフィーリア幻想」公演のほか、日本伝統芸能についての講義、能のパフォーマンスなどが予定されています。

開催場所：グダンスク、ul. Wojciecha Boguslawskiego 1

詳細：

http://www.teatrshakespearewski.pl/article/repertuar/maj//index.php?id_item_tree=7ebc485f21c2555bbd1fde42dcd9c1cb

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【～5月18日(月)】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されています。

開催場所：クラクフ、日本美術技術博物館 Manggha、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日'64」【5月20日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ALWAYS 三丁目の夕日'64」が開催されます(日本語音声、英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 584 73 00、Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】そろばんコンクール【5月23日(土)】

ツェグウフにて、そろばんアカデミー主催による「そろばんコンクール」が開催されます。

開催場所：ツェグウフ、ul. Poprzeczna 27

詳細：<http://konkurs.akademiasorobanu.pl/>

【予定】ポーランド科学アカデミー植物園ピアノフェスティバル【5月24日(日)～6月14日(日)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園主催による「国際ピアノフェスティバル」が開催され、日本人ピアニストの演奏が行われます。

スケジュール：

5月24日 15時 ニシムラミホ

5月31日 14時 イシトシキ

6月7日 14時 カワベサチエ

6月14日 14時 ミヤケショウコ

6月14日 15時 ノムラアリサ

開催場所：ポーランド科学アカデミー植物園、ul. Prawdziwka 2

詳細：<http://www.ogrod-powsin.pl/>

【予定】第7回「サイレンズ・オブ・ザ・ボディ」国際マイムアートシアター講習会、プレゼンテーション【5月30日(土)～31日(日)】

ワルシャワ市にて、ワルシャワのマゾヴィエツキエ文化芸術センター主催による『第7回「サイレンズ・オブ・ザ・ボディ」国際マイムアートシアター講習 & 講演会』が開催されます。

開催場所：マゾヴィエツキエ文化芸術センター

詳細：www.mimearttheatre.pl

待ち合わせ先：info@mimearttheatre.pl

【予定】第3回日本祭り「Matsuri」【5月31日(日)】

タルノフスキェ・グリュ市にて、タルノフスキェ・グリュ市文化センター主催による『第3回日本祭り「Matsuri」』が開催されます。日本の伝統ゲーム、水墨画のワークショップ、お寿司、盆踊りなどが予定されています。

開催場所：タルノフスキェ・グリュ市文化センター

詳細：<https://www.facebook.com/events/509740302507563/>

【予定】44回国際青少年柔道選手権 【5月31日(日)】

ビェルスコ・ビヤワ市にて、ポドベスキジェ・スポーツ協会「ヤノシク」主催による『第4回国際青少年柔道選手権』が開催されます。

開催場所：ビェルスコ・ビヤワ, Hala pod Debowcem, ul. Karbowa 26

詳細：<http://janosik.judocup.com/>

読者からの投稿

「第13回 日本語劇—アダム・ミツキェヴィチ大学日本学科2年生による—」上演のお知らせ【5月16日(土)16:30開演 (16:00開場)】

開催場所：Dom Studencki “Hanka” の劇場

住所：al. Niepodległości 26, Poznań

演目：「和風の国のアリス」

後援：アダム・ミツキェヴィチ大学東洋研究所日本研究科

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)